



やいちのこ

2021年、新たな年を迎えました。2学期の最終日に「来年こそは、絶対にいい年しよう」と合言葉のように玄関で声かけ合った子供たちが、晴れやかな表情で登校してきてくれました。みんな、マスクに、帽子・コート・マフラー・手袋姿。それでも隙間からのぞいている瞳は、キラキラと希望に満ちた輝きを放っていました。とても清々しいスタートでした。

先月号の中で、学校現場を象徴する漢字として「変」を挙げました。旧字体では「變」と表します。「糸」は、約束や決めごとを意味します。「言」は、刃を表します。「文」は、右手(利き手)を表します。つまり、『決めごとを断ち切って、新たなものをつくり出す』という意味だと解釈しています。

3学期は、当然のごとくまとめの時期ですが、学校においては一番大きく「変わる」「変化する」時でもあります。学校において「変化」とは、すなわち「成長」を意味します。新年を迎え、学年末を迎える。そこに、昨日の自分とは違う、変化・成長した自分を見つめる。そして、次の学年での自分の姿をイメージする。そんな子供たちの様子が確認できるのが、3学期なのです。自分が「変わる・変化する」(成長)ためには、「変わるだろうか?」「自分にできるだろうか?」「強い思いが必要ですか?」その思いを支えてくれるのが、「夢や希望」なのだと思います。私たち大人は、子供たちに「夢や希望をもちなさい」と言います。安易に使いやすい言葉なのですが、今の時代における「希望」のあり方をいつも考えていた人がいます。いきものがかりのリーダー 水野良樹さんです。彼が「風が吹いている」(オリオンピクチャー)を作ったときの話です。「今は、同じ夢であるとか、ある種の共同体



健やかな希望の年へYELLを!!

意識を持ちにくい時代になっています。『みんな一緒だよ』と合言葉でいた時代はとうの昔に終わりました。今は『いやあ、それぞれだよ』という前提が認識されているように思われます。個々の立場やスタンス、位置により様々な言説をせざるを得ない状況が強いられている。そんな時代だけに、だからこそ、歌はそれぞれを繋ぐ『希望の橋』になり得るのだと思うのです。

「いきものがかりの曲では、『YELL(エール)』が印象的です。中学生の合唱曲として有名で、卒業式にもよく歌われていました。『サヨナラは悲しい言葉じゃない』という一節があります。この曲は、あの東日本大震災の直後に作られました。あれほどの災害のあと、「希望」や「夢」をどう伝えていこうかと日本中が苦しんでいた中、生み出された歌です。水野さんは、おっしゃっていました。「被災地で、中学生がYELLを歌う映像を観ました。避難している方が、同じ避難をしている方々に向かっ、涙を流しながら歌っていました。歌は、僕個人の想像を遙かに超え、誠実に感情を押しつけていることなく、確実にその人たちに寄り添っていました。」

依然、先が見えない不安な状況が続いています。それでも子供たちと一緒に、希望を持ち、少し先を夢見ながらいきたいと思えます。現在、国によるコロナ感染防止対策における緊急雇用として、本校にも学習支援サポート及びスクールサポートスタッフとして非常勤ですが11名のスタッフ(学生中心)が配属されています。安全な環境を維持するために、施設の清掃、共有用具等の消毒などを徹底しています。

この新たな年は、子供たちが安心して生活できる環境を、寄り添う私たち大人が確実につくり上げていかなければなりません。子供たちが、健やかに、希望を持ち、夢を追い続けられるようYELLを贈り続けていきたいと思います。

1 January
学校教育目標
「生きる力」を育み、
未来に生きる児童の育成

1月号
文責：杉田

日	曜	行事
◆年度当初予定していましたが「授業参観・学年部会」は、授業参観は中止とし、部会は紙面会議とさせていただきます。そのため、次年度部会役員の選定につきましては、学年ごとの選出会にて決定させていただきます。よろしくお願いいたします。		
1	月	委員会活動(最終) きのこの日
2	火	R3年度学年部会役員選出会 (現5学年) 19:00~
4	木	R3年度学年部会役員選出会 (現3・4学年) 19:00~

2月
主な行事予定

日	曜	行事
5	金	R3年度学年部会役員選出会 (現1・2学年) 19:00~
10	水	校内研究会 PTA執行部会・学校委員会④
12	金	R3年度山梨県指導重点説明会
15	月	登校班会議(R3班編制) きのこの日
17	水	児童総会 職員会議
24	水	6年生に贈る会 学校評議員会②→紙面開催
25	木	体重測定(2・4・6年生)
26	金	体重測定(1・3・5年生)

谷一小的新たな日常～SCENE 009～ “希望あふれる新年のスタート”

始業式 R3. 1. 12 心温まる瞬間



4年生児童が2名、冬休みの様子と3学期（新年）に向けた抱負を全校に向けて発表してくれました。

「2020年は、私にとって少しさみしい年でした。なぜかという、毎年やっているように、旅行に行ったり、友だちと遊んだりすることができなかったからです。いつものように遠くの大きな神社には行くことはできませんでした。しかし、思っていたより楽しい冬休みになりました。家族みんなで家の中で楽しむことを考えてやったからです。

まず、おせち料理作りに挑戦してみました。私は、伊達巻き、栗きんとん、まなすを作りました。私は、なますの調味液を作っているときに焦がしてしまいました。でも、もう一度やり直したら上手にできました。家族みんなでカンパイをした後に食べてみたら、少しすっぱかったけどおいしかったです。

次に、近所の小さな神社へ行きました。参拝者も私たちだけで、神主さんもない静かな場所でした。

ですが、私は『こっちの方も、いいな』と思いました。なぜかという、上を見ると青空と太陽があって、空気がさわやかですがすがしい気持ちになれたからです。

この冬休みを通して、私は、大変なときでもみんなを考えて（工夫して）やれば、楽しくなるということ学びました。これからも、コロナウィルスには気を付ける生活になるけれど、友だちと話し合い、楽しい学校生活にしていきたいです。そして、たくさんの人と仲良くなるために、気持ちのよいあいさつができるようにがんばりたいです。」



「私は、2学期にがんばったことが2つあります。

1つ目は、運動会をがんばりました。リレーで負けないように、クラスのみんなで休み時間に集まって練習したり、声をかけ合いました。その結果、2位と3位になれてうれしかったです。

2つ目は、勉強です。算数のがてなので、たくさん勉強して、たくさん覚えてきました。にがてだったけど、むずかしい問題も解けたのがうれしかったです。

そして、3学期にがんばりたいことは、もっともつと友だちを増やしていきたいと思っています。4月からは、5年生になって、クラスがえがあります。みんなで協力できるように、やさしい気持ちを大切にしたいです。

次は、勉強をがんばりたいです。（問題が）むずかしくてもとけるようになってきたので、がんばってほしいと思います。

この2つのことを、がんばって取り組んでいきたいです。」

全校児童を代表した発表でした。このように子供たち一人一人の素直な思いを実現させてあげたい。達成できた喜びを一緒に分かち合いたい。心からそう思える一時でした。



令和3年度入学生保護者説明会 R3. 1. 25



来年度入学児童57名の保護者のみなさんにお集まりいただき、入学説明会を開催しました。

私が初めて赴任した三十数年前は、130名を超える入学生だったと記憶しています。二度目に赴任した

頃は90名ほどで、三度目の時には70名ほどでした。少子化の現状を実感しているところですが、現在、山梨県としても少人数学級編成へ移行しようとしています。25人学級の編成となれば、新1年生は3学級となります。本年度同様に、小学校へのスムーズな接続としてのスタートプログラムにおいても、大変きめ細かい指導が実現できます。

新入生の入学を、谷一小全職員並びに全児童、心待ちにしております。キラキラした元気な1年生に出会える入学式当日（4/7）が楽しみでなりません。

ICT機器を活用した学びの構築へ

国が2022年の実現を目指して推進している「GIGAスクール構想」に向けて、都留市も動き始めています。Society5.0の社会（あらゆる情報をビッグデータとして集積し、それをAIが解析し高付加価値の情報・データとして我々にフィードバックする社会）を目指すために、子供たちの情報学習環境を整備していきます。目標としては論理的思考能力の育成、コミュニケーション能力の育成、メディアリテラシーと情報発信能力の育成などです。大容量データ送受信、一人一台のタブレット、大型モニター（電子黒板）等を子供たちが活用していく学習を組立てていきます。来年度からの大きな変化です。

